

第15回物流関連ゼミ学生による研究発表会「テーマと概要」

発表順	大学名	テーマ	概要
1	城西大学	飲食業における物流「2024年問題」への対策と提言	「2024年問題」によりドライバー不足が加速することが懸念されるなかで、各業界に対して様々な影響も予想され混乱が必至である。私たちは学生にとって身近な飲食業界への影響に注目した。配達にかかる時間が長くなる、新鮮な食品が配達されないなどの課題に対策ができるのかなどを地元の飲食店へのインタビューをすることで、現場の声を元に対応策等を検討し、提言を行う。
2	朝日大学	過疎地域におけるラストワンマイルの配送効率に関する研究	ドライバーの人手不足問題は「2024年問題」への対応も伴い、さらに深刻化している。特に、過疎地域では、荷量は少なく、走行距離が長いといった物流の特性があり、配送効率の低さが問題となっている。長時間労働や配送効率の低さが、人手不足問題に拍車をかけている。そこで、少ない荷量を人手によらずに運ぶことのできるドローン物流に注目した。宅配の分野で急速に法整備が進み、実証実験も数多く行われており、企業間物流への活用に期待が大きい。本研究では、過疎地域におけるラストワンマイルについて、ドローン物流による配送効率の向上および有人配送とドローン物流の補完可能性について明らかにする。
3	東京海洋大学	過疎地域における輸送サービスの持続的な提供に関する研究	現代の日本ではドライバー不足による物流の途絶が大きな社会的な問題になっており、さまざまな対策が議論されている。しかし、過疎地域においては、そもそも人口減少による貨物量の減少から輸送サービスの継続自体が危ぶまれているが、これに対する十分な議論はなされていない。そこで本研究では多くの過疎地域を有する北海道を対象に持続的な生活や企業活動を維持するための輸送サービスをどのように提供すべきか検討した結果を報告する。
4	大阪産業大学	物流会社に就職した若手社員への就活アンケートに関する研究	2015年に実施した同アンケートを約8年ぶりに実施し、その結果を過去のものと比較等を行う。
5	神奈川大学	物流の2024年問題とトラック運送業者に求められる対応	働き方改革法案の施行で時間外労働が規制されるようになり、トラック運送業は深刻な問題に直面している。来年に迫る物流の2024年問題に対してトラック運送業者の対応がますます重要となっている。本研究ではトラック運送業が直面する課題を明らかに、どのような対応策が必要なのかを分析する。